

■新松田駅周辺地域まちづくり協議会（第2回）

開催日時 平成28年11月29日（火）午後3時30分から

開催場所 松田町役場 4階 4AB会議室

1. これまでの経過報告

事務局より、第1回商工観光部会及び第1回交通部会について、開催概要や当日の意見等を報告。

【委員】

昨年12月に行われた第1回のまちづくり協議会に出席していないため、協議内容や結果がわからない。認識を共有するため、議事録は関係者に配布してほしい。前回何が決まったのか、今後のスケジュールはどのようになっているのか。会議の重みを考えてまとめてほしい。

【会長】

議事録は後日配ってください。次回以降も議事録は配ってください。

【委員】

出席者、発言者が匿名になっている。明示すべきでは。

【会長】

ワークショップ形式では、あまり発言者が誰であるかは重要ではない。

【委員】

交通部会にも、我々のような地元自治会関係者を参加させてほしい。協議内容についての情報提供もお願いしたい。

【事務局】

第1回交通部会において交通事業者を対象としたのは、事業者観点からの意見を頂戴するためであった。今後、地域住民や利用者の意見も伺いながら検討すべきと考えている。交通部会における協議内容については、ドライバーや営業でやっている方の意見を頂戴し、問題点、課題の整理を行った。具体的な話はまだしておらず、現在の駅周辺の問題点等整理した。

【委員】

交通部会で南口のバスの話は出ていないか。

【事務局】

特に出ていない。町としてはバス事業者には南口から発着をお願いしたいと考えている。

2. 新松田駅周辺整備基本構想・基本計画の策定について

4. 今後の進め方について

事務局より、新松田駅周辺整備基本構想及び基本計画の位置づけや概要、策定スケジュールについて説明後、議論を行った。

【委員】

用語として用いられている「地域」「地区」「区域」の定義、違いがわからない。

【事務局】

地域、地区、区域の定義は紛らわしい状況にある。再整理させていただきたい。

【委員】

基本構想検討区域の設定の考え方を確認したい。現在示されている区域は、地域資源である寒

田神社が含まれていなかったりする。また、道路の沿線は両側でまちづくりが進められるべきだが、道路の中心に区域が設定されている。

【事務局】

当然周辺の地域資源を活かし地区でどういう街づくりを目指していくのかを検討する時にはもっと広いエリアで考えなければならない。検討範囲は適宜柔軟に広げていきたいと考えている。

【委員】

基本構想の策定においては、協議会参加者だけではなく、地域住民の意見についても広く聞いて決めなければならないと考えるが、年度内に取りまとめできるか。

【事務局】

計画策定スケジュールとして、目標として3年間のなるべく早い時期に基本計画を策定したいと考えている。その上で、今年度中の基本構想策定を目安として設定している。当然若干の遅れはあると考えているが、なるべく早く策定したいと考えている。

【委員】

基本構想は、どのように合意形成を図り策定されるか。地域住民にはどのように示されるか。地域住民もいろいろな意見を持っている。基本構想はまちづくりの根本となる重要なものである。簡単に決まらないのでは。

【事務局】

基本構想については、土地利用の他、施設計画や、実現方策、基盤整備、商業の活性化等幅広く検討し策定しなければならない。まずは協議会でのご意見をもとに事務局で骨子を作成し、協議会に骨子を確認いただいた上で、住民の皆様にも示したい。提示方法は説明会やパブリックコメントなどいろいろ考えられるが、住民の皆様にも段階を踏んで示しながら検討を進めたいと考えている。そのため、ご指摘のように時間がかかる場合もある。

【本山】

まちづくり基本構想で示す方針については、大きな費用を伴うものである。策定した後で費用が賄えず、取り組めないというものでは意味がないため、費用や財源についても留意しながら検討すべき。

3. これまでの検討を踏まえた駅周辺地区のまちづくりの方向

松田町の上位計画やこれでの部会、協議会における検討結果を踏まえた、駅周辺地区のまちづくり方向等について、事務局で作成したたたき台をもとに、議論を行った。

【委員】

松田町は産業、事業所が少なく、そのため仕事が少ない。住みやすい環境づくりだけではなく、周辺市町村との連携強化や町の魅力向上を図り、周辺から移住者、観光客を呼び込んでいかなければならないのでは。周辺からの呼び込みを図るには、例えば小田急の東京からの快速電車の増便などといった交通アクセスの強化といった取り組みについても検討していただきたい。

【委員】

新松田駅周辺では、山北町や大井町からの利用者も相当いると感じている。そうした結果が本日実施している交通実態調査などで明らかになってくるのでは。

【委員】

新松田駅は広域的な玄関口であるべきだと考えている。

【委員】

新松田駅は、駅前の踏切で渋滞が発生するという課題がある。地元住民の多くは、鉄道が高架化されるなどの対策がされると非常に理想的だと考えている。

【委員】

小田急では、現在下北沢駅において、鉄道の連続立体交差事業に取り組んでいるが、高架化されると、鉄道による地域分断が解消され、地域のまちづくりに大きく貢献できると感じている。鉄道の高架化については、周辺の道路事業もあわせて行われなければならないため、取り組む場合には、神奈川県や松田町とも連携して検討しなければならない。

【委員】

関係事業者、杉本先生のお力添えをいただき、忌憚のない意見を交わしてよい構想を作りあげていきたいと考えているが、その上で、是非JR東海にも協議会に加わっていただきたい。

【事務局】

JR東海は数多くの市町村を通過する駅を持っているため、個別の駅周辺の街づくり検討に参画する人員を配置できないことから、協議会には出席ができないという連絡を受けている。一方で、御殿場線沿線の街づくり協議会には参加していただいている。また、10月に開催した交通部会には参加していただいた。もし今後、駅周辺の街づくりの上でJRに関わる駅の改築や、駅前広場整備といった事業を検討することになった場合は、オブザーバーとして参加する可能性もあると伺っている。

【委員】

駅周辺のまちづくり検討イメージについて、松田駅前の取組みが少ないように感じている。新松田駅から松田駅への回遊路ができるのであれば、松田駅北側を整備し、バスを分散しては。

【事務局】

ご意見の通り、小田急からJRの松田駅北口へ向かう通路ができれば、人の流れも変わり、バスなどの公共交通を分散できる可能性もある。

【委員】

商店街を回遊するイメージが湧いてこない。例えば、ロマンス通り商店街については寒田神社への参道とするなど、周辺の地域資源や魅力と連携して明確なテーマを設定すべきでは。中澤酒造や周辺のおいしい蕎麦屋、街道の歴史や文化、川との近接性などを活用していただきたい。新松田駅の南口については、今後旧松田土木事務所跡地が活用されると、駅南のポテンシャルが高まり、土地利用の変化が想定される。こうした動向を踏まえた検討が必要である。

【委員】

まちづくり方針については、イメージが湧かず検討しにくい。もう少し、駅の周辺の魅力をつくるための具体的な取組みについて話し合う方がいいのでは。

【事務局】

問題となっているのは、確かに駅周辺の交通対策であったり、観光の魅力発信であったり、コアな部分で駅として機能していないというのはおっしゃるとおりだと思います。その中でそれを中心にちょっと絞った内容で議論を深めていくということが逆に松田全体のまちづくりには近道かなと考えております。ご意見を参考に、運営、策定方法を検討していきたいと思っております。

【委員】

理想形よりも身近な住民の話を聞いてもらいたい。交通アクセスについては、もっと広くまっすぐな道があれば、足柄地域の玄関口と言えるが、今の道路事情では難しいのでは。交通の話は、難しいかもしれないが、優先的にやってもらいたいのは駅前整備である。建物も古く、防災上も不安であるため、地主等に協力してもらい駅前整備に取り組んでいただきたい。

【委員】

まちづくり方針など大きな話は異論がないだろう。駅の南口、北口のまちづくりを具体的にどう取り組むかに絞って話をした方が、協議会の皆様にとってはわかりやすいのでは。

【事務局】

まちづくり方針は、国や県への補助金申請上必要な面もあり、地域の皆様には是非ご理解いただいた上で、協議会では各論の部分、具体的な取組みを中心に今後検討していきたい。

【会長】

方針については、並行して都市計画マスタープランの検討も行っており、そちらである程度骨格が出てくるだろう。次回以降、協議会は具体的な駅前のあり方や、2つの駅のつなぎ方といった具体的な取組みを検討する場としたい。

以上